



水産大学校代表

鷺尾 圭 司

卒業生、修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

水産大学校での学生生活を締めくくり、実社会に旅立つ、あるいは進学する皆さんの前途を心から祝福いたします。また、この日を心待ちにしておられたご家族、支援者の皆さまにも、あわせてお祝い申し上げます。

卒業に際し、贈る言葉として4つ上げさせていただきたいと思います。

まず、「生きているだけで丸儲け」というもので、阪神淡路大震災を経験した心の持ち様です。次いで、「仕事はほどほどに、趣味道楽は命がけ」という私の生き方で、仕事は飯のタネですから生きるために必要ですが、生きがいは人生の美学につながるものだから大事にしたいという気持ちです。働き方改革が言われていますが、命をかける先を間違っはいけないという教訓でもあります。

三つ目は、「金持ちより人持ち」というもので、お金は嘘もつかないけれど、親身になって助けてもくれない。人とのつながりを大切に、持ちつ持たれつの人間関係を重視しようというものです。最後は、「天に政策あれば、民に対策あり」という中国のことわざです。世の中には「悪法も法のうち」というような不条理がまかり通ることがありますが、民衆の暮らしは、それをしなやかに、したたかにやり過ごす知恵があると教えて

います。

今年は就職環境も売り手市場だといわれ、皆さんの行き先も開かれているものと思いますが、世の中には自分を成長させてくれるうれしいことや楽しいこともあります。困難なことや嫌なことにも度々出会います。そんなとき、まず生き残ることを最優先にして下さい。次に大事にすべきは生きがいと人脈です。そして柔軟な考え方を心がけて欲しいと思います。

今日から皆さんに人生のルールはありません。大海原に船出する気概と意欲と探究心を持って、水産世界に大いにチャレンジして下さい。

最後になりましたが、ご多用中にもかかわらず、ご臨席頂きました水産庁からは長谷成人水産庁長官、水産研究・教育機構の和田時夫理事、地元の下関市からは前田晋太郎市長、はじめご来賓、保護者の皆さまに心より感謝の意を表し、皆さまのご多幸をお祈りしてお祝いの辞とさせていただきます。